九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[0019]九州大学生体防御医学研究所年報 : 2004年

https://doi.org/10.15017/6247

出版情報：九州大学生体防御医学研究所年報. 19, 2005-07. 九州大学生体防御医学研究所
バージョン：
権利関係：

診療放射線室

Radiology

医師 2 名、放射線技師 4 名で、画像診断全般、IVR、放射線治療を担当している。研究では、放射線防護剤の新たな投与法の開発に関する研究を行っている。

人事異動については以下の通りである。

2004 年 12 月に福谷講師が麻生飯塚病院に転出した。

2005 年 1 月に上田真信が九州大学病院から助手として着任した。

2005 年 3 月に堀田技官がだいかく病院に転出した。

2005 年 4 月に肥塚康道が技官として着任した。

A.　胃癌に対する新しい画像診断法に関する研究

胃癌に対する画像診断方法としては従来より、内視鏡検査および造影X線検査がある。近年CT装置の進歩に伴い、転移の検索のみならず、原発巣の検出・深達度診断に対しても用いられるようになりつつあるが、依然、問題点も多い。この問題点を明らかにし、改善を図るための研究を行っている。

B. 放射線防護剤の新たな投与法の開発

放射線防護剤に関する研究は現在まで多数行われてきたが、従来の全身投与法では安全域が狭く臨床応用は困難であった。我々は実験動物を用いて、IVR 手技を応用したより安全な局所投与法の開発を行っている。

業績目録

原著論文

1. Inoue T, Kato H, Yoshikawa K, Adachi T, Etoh K, Wake N. 2004.
   Retroperitoneal schwannoma bearing at the right vaginal wall.
   J Obstet Gynaecol Res. 30:454-457.

2. Hatakenaka M, Yoshimitsu K, Adachi T, Matsuda T, Wake N, Honda H. 2004.
Transient uterine myometrial contraction associated with moles.
J Magn Reson Imaging. 19:182-187.

3. Adachi T, Oda Y, Sakamoto A, Terashi T, Tamiya S, Hachitanda Y, Tsuneyoshi M. 2003.
Prognostic factors in the so-called malignant mesenchymoma: a clinicopathological and immunohistochemical analysis.
Oncol Rep. 10:803-811.

4. Adachi T, Oda Y, Sakamoto A, Saito T, Tamiya S, Hachitanda Y, Masuda S, Tsuneyoshi M. 2003.
Mixed tumor of deep soft tissue.
Pathol Int. 53:35-39.

5.上田真信、宇都宮尚、増成暁、入江裕之、本田浩． 2004年
3D-CTを用いた正常胃幽門前庭部における壁の厚さの解析
日本消化器内視鏡学会雑誌　46巻　698項

学会発表

1.Ueda M, Utsunomiya T, Irie H, Masunari S, Honda H. (2004,11/28－12/3)
3D-CT imaging of gastric cancer
The 90th Radiological Society of North America, Chicago

所員名簿

助手	足立	利貞
助手	上田	真信
技官	進藤	順二
技官	都地	辰昭
技官	岩佐	桂
技官	肥塚	康道

検査室

Diagnostic Laboratory

人事に変更はない。

当検査室は，病院の効率的経営に寄与するとともに，先進的検査法を開発できるような組織に変貌することが求められている．また，ISO や医療機能評価機構など何らかの第3者機関による評価を受け，組織の質が適正であることをアピールする必要もある．

業績目録

原著論文

1. Motoaki Shiratsuchi, Youko Suehiro, Yasuji Yoshikawa, Koichi Ohshima, Satoshi Shiokawa, Junji Nishimura. 2004.
Extranodal multiple involvement of enteropathy-type T cell lymphoma without expression of CC chemokine receptor 7
Int J Hematol ;79:44-47

2. 吉河康二，松田貴雄. 2004 年 9 月 25 日
血縁者間結婚と遺伝性疾患の頻度
日本医事新報 4196：96

3. Naotsugu Haraguchi, Hiroshi Inoue, Koshi Mimori, Fumiaki Tanaka, Tohru Utsunomiya, Yasuji Yoshikawa, Masaki Mori. 2004
Analysis of gastric cancer with cDNA microarray.
Cancer Chemother Pharmacol ; 54 (suppl 1); S21-24

4. Kato H, Kondoh H, Inoue T, Asanoma K, Matsuda T, Arima T, Kato K, Yoshikawa T, Wake N. 2004
Expression of DCC and netrin-1 in normal human endometrium and its implication in endometrial carcinogenesis.
Gynecol Oncol. Nov;95(2):281-9.

5. Hidenori Kato, Takafumi Inoue, Kazuo Asanoma, Takao Matsuda, Yasuji Yoshikawa, Norio Wake. 2005
Activation of STAT3/5 signal pathways in complete mole and repression in choriocarcinoma cell lines.
J Reproductive Medicine

6. Youko Suehiro, Koichiro Muta, Manabu Nakashima, Yasunobu Abe, Motoaki Shiratsuchi, Satoshi Shiokawa,

Shoichiro Ikuyama, Yauji Yoshikawa, Takeshi Watanabe, Junji Nishimura. 2005
A novel mechanism in suppression of erhthropoiesis during inflammation: a crucial role of RCAS1.
Eur J Hematol : 74: 365-373

7. Takafumi Inoue, Hidenori Kato, Yasuji YOshikawa, Toshisada Adachi,Kohzo Etoh and Norio Wake.2004
Retropenitoneal schowannoma bearing at the right vaginal wall .
J Obstet Gynecol Res 30(6); 454-457,

8. 吉河康二, 井上貴史, 加藤秀則, 和氣徳夫. 2005
膣に発生した無色素性悪性黒色腫の 1 例
大分県医学会雑誌 23 ⑴ :21-24,

9. Toyoki Maeda, Satoshi Shiokawa, Yasuji Yoshikawa, Takashi Hiroyama, Yasuhiro Nakajima, Hiromi Muta, Masaharu Nakayama, Yukoh Nakazaki, Shinichiro Akizuki, Kanako Shimizu,a Toshitaka Mutoh,a Shinichi Somada,a Ryo Kurita,a Motoaki Shiratsuchi, Naoki Makino, Junji Nishimura, Kenzaburo Tani 2004.
Successful treatment of pure red cell aplasia with cyclosporin A and erythropoietin after thymectomy in a 88-year old woman.
haematologica ;89(6):ECR17

総説

1. 吉河康二.2004.
遺伝カウンセリングの実状
Medidal Technology, 32 ⑴ , 95-100.

著書

1. 吉河康二, 2004.
腎･尿路.
カラーで学べる病理学 ⑵渡辺照男編⑶ , pp. 225-238
ヌーヴェルヒロカワ, 東京

2. 吉河康二, 2004.
腎･尿路.
カラーで学べる病理学整理ノート：ポイントと確認問題 ⑵渡辺照男編⑶ , pp. 56-58

ヌーヴェルヒロカワ, 東京

学会発表

1. 西岡祥子 (2004, 4/4))
抗酸菌検出におけるキャピリア TB と PCR が乖離した1症例
微生物研究班研修会 (別府市)

2. 宇藤満昭、吉河康二 (2004, 6/25)
婦人科細胞診：従来法と thin layer 法における IIIb 細胞の比較検討
平成 16 年度生医研集談会 (別府市)

3. 一戸晶元, 加藤聖子, 須賀新, 山吉麻子, 有馬隆博, 吉河康二, 和氣徳夫 (2004, 7/11)
術前診断に苦慮した原発性卵管癌の一例
日本産婦人科学会大分地方部会 (大分市)

4. 吉河康二, 松田貴雄 (2004, 8/25)
近親婚に関する遺伝カウンセリングについて：自験例のまとめと文献的考察
第 7 回遺伝子ボーダレス研究会 (大分市)

5. 松田貴雄, 吉河康二, 利光美代 (2004, 9/17-9/18)
当院遺伝外来における遺伝カウンセリングと遺伝子検査
第 11 回日本遺伝子診療学会大会 (東京)

6. 吉河康二, 松田貴雄 (2004, 10/2)
連鎖解析を用いた X 連鎖筋ジストロフィーの遺伝子診断：3 家系の経験
生医研リトリート (湯布院)

7. 吉河康二 (2004, 11/27)
膣腫瘍
第 282 回九州スライドコンファレンス (佐世保市)

8. 吉河康二 (2004, 12/18)
『メーリングリスト GC-ML と GCwide-ML』

第 2 回全国遺伝子医療部門連絡会議（京都市）

9. 吉河康二（2005, 5/15）
卵巣腫瘍
第 285 回九州スライドコンファレンス（福岡市）

所員名簿

附属病院検査部

助教授　　吉河康二

技　官　　伊東義和

〃　　重安利恵

〃　　古庄知子

〃　　森大輔

〃　　宇藤満昭

技能補佐員　　三浦美子

技術補佐員　　城本久枝

手術部

Department of Operation

当部門では、先進医療センターの手術管理を行っている。特に年間４００程の症例に対して、低侵襲の手術、麻酔管理を目標に周術期管理に取り組んでいる。主な研究課題は、手術に於ける酸化的ストレスに対する抗酸化物質による緩和作用である。

慢性疾患診療部（リハビリテーション）

Rehabilitation of　Chronic Diseases

人事異動については、作業療法士の山元裕子が、平成 17 年 3 月 31 日をもって退職した。移動先は、国立病院機構福岡東医療センターリハビリテーション科である。

職員構成は、西村純二部長、尾山純一助手，西山保弘主任、理学療法士工藤義弘、理学療法士矢守とも子、作業療法士中園貴志，マッサージ師岡田玉樹である。その他、派遣職員１名が温泉水治療法担当として配属されている。

診療実績については、平成 15 年度の利用者延べ人数は 13214 人から平成 16 年度は理学療法が 10001 人、作業療法が 2993 人、合計 12999 人の利用者があった。平成 15 年度に比べ僅かに減少した。

最近の臨床研究については、関節リウマチの上肢機能がＡＤＬ障害を及ぼす影響、関節リウマチの身体活動量と炎症との関係などを行っている。基礎的研究としては、ヒトを対象とした心疾患の温泉温熱療法が末梢血管抵抗に与える影響、同じくヒトを対象とした温泉の保温性（温泉種の生体保温時間の相違、温泉と新湯の違い、擬似生体と生体の違いなど）に関するテーマの研究を再開している。

業績目録

原著論文

1. 西山保弘、塩川左斗志、山元裕子、橋本由美子、工藤義弘、矢守とも子、加賀登喜子、中尾政治、工藤吉史、和田弘子、高瀬恵美子、織部元廣、西村純二．2004．
   関節リウマチの介護を受ける側のニーズ－外来患者のアンケート調査より－．
   大分リウマチケア研究会雑誌．５，P29-38．

総説

1. 西山保弘．2004．
   リハビリテーションケアと歩行．
   大分リウマチケア研究会雑誌．５，P23-26．

学会発表

1. 西山保弘，井ノ上修一，工藤公晴，工藤義弘，矢守とも子，山元裕子（2004,5/27～29）
リウマチ性膝関節炎への Manual Direct Pressure と炎症マーカーの変化
第 39 回日本理学療法学術大会，仙台

2. 工藤義弘，尾山純一，矢守とも子，山元裕子，西山保弘（2004,5/27～29）
慢性心不全の温泉療法における心機能と血管反応
第 39 回日本理学療法学術大会，仙台

3. 井ノ上修一，天満和人，井崎義巳，福田哲也，小谷泉，西山保弘（2004,5/27～29）
腰椎間歇牽引が筋弾性へ及ぼす影響－牽引力の検討も含めて－
第 39 回日本理学療法学術大会，仙台

4. 西山保弘、佐藤義則、塩川左斗志、山元裕子、矢守とも子、工藤義弘、尾山純一（2004,10/30～31）
関節リウマチの身体活動量と炎症マーカーの関係
九州理学療法士・作業療法士合同学会，長崎

5. 西山保弘、塩川左斗志、佐藤義則、矢守とも子、工藤義弘、山元裕子、尾山純一、西村純二（2004,12/11）
RA の身体活動量と炎症マーカー
第 14 回大分県リハビリテーション医学会，大分

6. 工藤義弘，尾山純一，矢守とも子，西山保弘(2004, 12/19)
慢性心不全に対する温泉療法－心機能と血管反応について－
第 8 回大分県理学療法士学会，大分